

足尾銅山の産業遺構と街並みを訪ねる

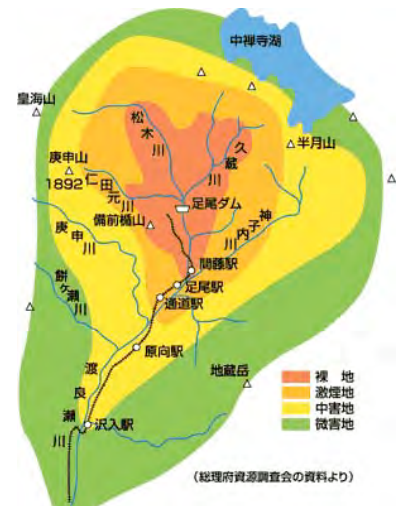
2006年11月25日（土）

目的：今回のキャラバンは、幕府直轄の銅山から明治の古河市兵衛による近代化で東洋一の鉱山として栄えた足尾の産業遺構を訪ねます。桐生から足尾までは渓谷美を誇る「わたらせ渓谷鐵道」で移動し、足尾銅山の歴史と産業遺構を「楽迎員」の方の解説で視察します。

足尾銅山は1610年（慶長5年）、足尾の農夫に発見され、幕府直轄の採掘が始まった。生産された銅は、江戸城や日光の社寺の銅瓦、銅銭、銅材などに用いられ、最盛期にはオランダへも輸出された。

明治に経営が古河市兵衛に移り、最新技術によって飛躍的に生産がのびた。

一方、鉱毒事件などの社会問題も起き、昭和48年閉山となるが、植林・治山事業は現在も続いている。



(総理府資源調査会の資料より)

足尾銅山バスツアー日程【2006年11月25日（土）】

- 集合場所：新宿西口スバルビル前 新宿駅出発 午前8時
・バスで高崎・伊勢崎インター経由大間々駅着
・わたらせ渓谷鐵道にて足尾銅山

- ①わたらせ渓谷鐵道車窓から渓谷美を望む【大間々/通洞駅間 約60分】
- ②足尾銅山観光で銅山坑内を体験【約60分】
- ③足尾銅山歴史館楽迎員の解説による産業遺構の視察【約120分】

[視察先（予定）]

- ・足尾銅山歴史館
- ・掛水倶楽部
- ・藤間水力発電所跡
- ・あかがね親水公園
- ・旧足尾製錬所
- ・新旧古河橋
- ・足尾砂防ダム
- ・緑の復元が進む松木溪谷 ほか

- 帰路：バスにて宇都宮・日光経由新宿駅
午後6時30分頃到着予定

- 参加費【バス料金など】：会員2000円 非会員3000円 学生1000円
昼食および施設利用料金は各自払いまたは別途徴集

- 申込み 問い合わせ メールまたはファクスにて下記まで、お願いします。
株日本都市総合研究所 高見公雄
E-mail : bi-machi@mail.goo.ne.jp
FAX : 03-3230-3408



1884年頃の足尾製錬所



1890年当時の間藤水力発電所



大間々駅/通洞駅間の移動はわたらせ渓谷鐵道